

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# 田辺工業高

## 前期技能検定17人合格

### フライス盤に1年生初

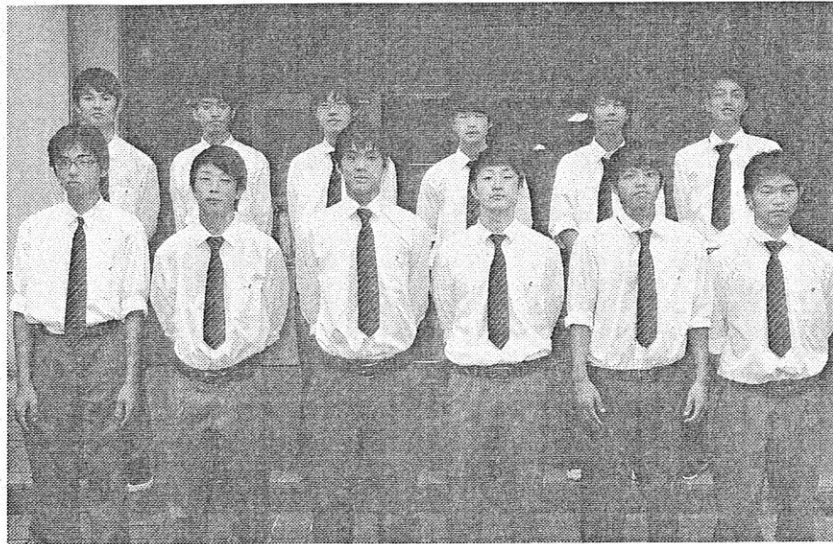
2016年度前期技能検定で、田辺工業高校(田辺市あけぼの)の生徒17人が合格した。普通旋盤作業とフライス盤作業、電子機器組み立て作業、機械保全の4作業の、いずれも3級。フライス盤作業は、同校の1年生で初めて合格者が出た。

技能検定は、厚生労働省の委任を受けて都道府県知事などが実施する国家試験。合格すると合格証書が交付され、技能士と称することができる。

学科と実技の試験があり、合格基準は100点満点中、学科は65点以上、実技は60点以上。7月に試験があった。

同校では、普通旋盤作業に3人(受験したのは6人)、フライス盤作業に1人(同2人)、電子機器組み立て作業に2人(同2人)、機械保全に11人(同13人が合格した)。フライス盤は2年生から授業を始めるが、機械科1年生

前期技能検定の3級に合格した生徒



の吉田唯太郎君(15)は同校の1年生で初めて受験し、合格した。

吉田君は「資格を取りたくて先生に相談して、薦められたのがフライス盤だった。5

月ごろから実技の勉強を始め、反復練習して、100分の5の精度になるまで仕上げた。次は機械保全や電子機器組み立ての試験に挑戦したい」と話した。